

「えたじまん さぐり隊」 ～えたじまん発見☆江田島大好きプロジェクト～

本単元と関連する9年間で育成する資質・能力

伝え合う力

日 時：令和5年11月17日（金）13：00～13：45

1 指導の方向性について

○単元観

【3学年テーマ 地域の魅力発見】

江田島市は、自然豊かな山や海に囲まれた温暖な気候の瀬戸内海に浮かぶ島である。島の自然や気候などを生かし、この島の伝統産業を守り続ける人や江田島の地の利を生かして新たな特色ある産業を生み出す人もいる。

本単元は、生活科「わくわく町たんけん」、3学年から始まる総合的な学習の時間の最初の単元である「わくわく地域発見」から発展した単元である。江田島に住む人や働く人との出会い、江田島の様々なよさを知るためにものやことについて、取材・調査や体験することを通して、江田島のよさを実感できる。また、それらを創り、育て、守る人々の存在や思いに気付くことができる単元である。周囲の人や他地域の人に自慢したくなる話等、相手意識や目的意識をもつことに必然性が出てくる単元であり、伝え合う力を育成することができる。さらに、地域の一員として生活し、自分のふるさとを愛する態度を育てることができる単元である。

○児童観（第3学年 17名）

【児童の実態】

本学年の児童は、3年生から始まる総合的な学習の時間の最初の単元である「わくわく地域発見」で、様々な場所やもの、人と出会い、見学や体験をしてきた。また、並行して進める社会科「学校のまわりの様子」では、生活体験をもとに学習を進めながら、地域の情報についておおまかに捉えることはできている。しかし、地域の自慢できる人、もの、ことについて、実際に会ったり、行ったりした経験は少なく、地図で位置関係を示したり、どんなことをしているのか、どんな人がいるのか、関連付けられる児童は少ない。また、自慢になる根拠をもって言うことは難しい。

学習に関するアンケートでは、「自分が住んでいるまちのよさが分かる」86%である。理由として、「新しいものがいっぱいできている。」「海がある。」「あいさつをしてくれる人がいる。」という回答であったが、具体的ではなく、漠然としている。3名の児童は、3学年からの転入生で、「地域のよさがあると思うけれど、よさがまだ分からない。」という回答であった。また、「総合的な学習の時間は好き」は100%で、理由は、「地域について理解を深められるから。」「見学や体験等の校外学習ができるから。」「探検やインタビューなどで、分からないことや知りたいことを聞けるから。」という回答があった。

【9年間で育成する資質・能力と関連する実態】

「主体性」…「自分で決めて、挑戦している。」「周りや協力して活動している。」という項目に対し、100%肯定的に回答している。友達と一緒に活動すると楽しいと感じている児童が多い。

「伝え合う力」…「自分の考えを発表する時は、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表している。」という項目に対し、ほとんどの児童が肯定的な回答をしているが、自分の考えに根拠をもって話すことが難しいと感じている児童がいる。

○指導観

【本単元における指導の方向性】

- 単元を通じた問いとして「『えたじまん』って何だろう？」を設定し、自分が暮らす江田島の人・もの・ことについて児童たちで話し合い、考える時間を確保しながら児童一人一人が学習課題を考えることができるようにする。見学や体験的な活動を通して、江田島の自慢できるところを発見し、江田島のよさを実感させるようにする。単元の第一次として、「江田島市役所の観光係の方から聞いたえたじまん」を知ることを通して、江田島の特色や独自のよさについての知識や経験を増やしていく。第二次では、江田島の自慢について深めていくために「えたじまん認定会議」を設定する。第三次として、深めた江田島の自慢についてえたじまんマップにまとめ、友達や家族、地域の人、他地域の人と江田島のよさを伝え、えたじま観光案内ができるガイドとして、えたじまを提案する。
- 探究的な学びを実現するために次の2点に留意して指導する。
 - ①児童が主体的に学ぶための支援
児童が見通しをもって学習を進めることができるよう、学習計画は「単元構想図」として掲示し、児童の学習の軌跡を残すようにする。また、考えて主体的に行動できるよう協働的な場を仕組んでいく。
 - ②対話を中心とした協働的な学び
課題について、情報・収集し、整理・分析する際に、自分の考えに根拠をもって伝え合うことができるように国語科や社会科で学習したことを生かすことができるような掲示物やキーワードを掲示しておく。

2 小・中9年間で育成したい資質・能力

	前期（小1～小4）	中期（小5～中1）	後期（中2～中3）
主体性 <input type="checkbox"/> やる気 <input type="checkbox"/> 自主性 <input type="checkbox"/> 課題発見力	自ら目標を設定し、その達成に向けて考え、判断し、探究活動に取り組もうとしている。		
	身近な人・もの・ことに進んで関わり、意欲をもって学習したり生活したりすることができる。	課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動している。	課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動するとともに、解決への見通しをもち、他者の考えを受け入れ、よりよい解決を目指している。
伝え合う力 <input type="checkbox"/> 表現力 <input type="checkbox"/> 傾聴力 <input type="checkbox"/> 対話力	探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重し、協働して新たな価値を生み出そうとしている。		
	自分の考えや思いを、言葉・絵・動作・劇・資料によって、相手に伝えたり、自分の学習を振り返ったりすることができる。	伝える内容が、相手に分かりやすく伝わるように、目的に応じて資料を作ったり、複数の資料を組み合わせたりして表現することができる。	目的や相手に応じて、伝える内容を吟味したり、資料を再構成したりして、根拠を明確にして適切に表現することができる。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標		
住んでいる江田島の人・もの・ことについて調べたり、見学や体験したりすることを通して、江田島の特徴やよさに気づき、地域や地域の人と関わる中で江田島の自慢について具体的に考え、江田島に愛着をもって、地域のためにできることを考えて積極的に関わるができるようになる。		
単元の評価規準		
(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
① 自分たちが暮らす江田島の自慢できる人・もの・ことについて理解するとともに、その自慢できるものやことを生かして働いている人や組織の存在、思いに気付いている。 ② 江田島の自慢を知るために、質問やインタビュー、見学・体験による調査を目的に応じて実施している。 ③ 江田島の特徴やよさと自分たちの生活には関連があることの理解は、江田島の自慢との関係を探求的に学習してきたことの成果であると気付いている。	① 江田島の自慢について、疑問や課題を見付け、解決に見通しをもっている。 ② 江田島の自慢について、課題の解決に必要な情報を、手段を選択し、目的や種類に合わせて、多様に収集している。 ③ 江田島の自慢について、収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関係付けたりしながら、解決に向けて考えている。 ④ 伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、分かりやすく表現している。	① 江田島の自慢に関心をもち、地域やゲストティーチャーとの関わりの中で、江田島の自慢を理解し、江田島の自慢を進んで見付けようとしている。 ② 江田島の自慢について、見学や体験を通して得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働し、根拠をもって、課題解決に向けて取り組もうとしている。 ③ 江田島の自慢と自分たちの生活のつながりがあることを自覚し、江田島に愛着心をもって、地域のためにできることを考えて積極的に関わろうとしている。

4 本単元に関する「本質的な問い」について

【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

ふるさと江田島はどんなところだろう？



【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）

「えたじまん」って何だろう？



【個別の問い】（授業内で身に付ける知識・技能等）

○「えたじまん」ってどんな人・もの・ことがある？（質問・インタビュー）

○どうしてそれが「えたじまん」なのかな？（見学・体験）

○その「えたじまん」を見るためには？体験するためには？

○「えたじまん」を地域の人や家族、学校の人に教えてあげたい。どうしたらよいのかな？

「えたじまん さぐり隊」 ～えたじまん発見！☆江田島大好きプロジェクト～

2年生
ぼくたち わたしたち
わくわくたんけんたい

○江田島のこと、くわしく知っている人はだれかな？家の人や周りの人に聞いてみよう！

江田島市 産業部 交流観光課
観光係の方からお話を聞きました！



Nsハッピートラベルのキャラクター
「うみちゃん」ぼうしの上に えたじまん

【評価】
知識・技能 ①②
思考・判断・表現 ①②
主体性 ①

学校行事「遠足」
中町小わくわくオリエンテーリング

ICTの効果的な活用
カメラ・クラスルーム・
ジャムボード

くらべる・分ける・つなげる
社会「まちのようす」「市のようす」

つなげる
理科「動植物のせいちょう」

分ける・くらべる
国語「情報 引用するとき」「お礼の手紙」

くらべる・つなげる
道徳「花の気持ちになって」

【評価】
知識・技能 ②
思考・判断・表現 ②③
主体性 ②

くらべる・つなげる
国語「はじめて知ったことを知らせよう」「対話」

くらべる・つなげる
道徳「わたしのいいところ」

課題設定①

第一次 ☆えたじまんのひみつをさがろう (見て！聞いて！体験しよう) (22)

情報の収集

地域のひととの出会い つながる

整理・分析

まとめ・表

○えたじまん新聞を作ろう (作品応募)

振り返り

中国新聞 出前授業「新聞の書き方」講座

課題設定②

第二次 ☆えたじまんのひみつをもっとさがろう！ (25)

単元構想図を児童と教師で共有することで、単元を貫く問いがぶれることなく、ゴールに向かうことができる。児童の思いなど、加筆修正しながら、単元構想図を活用することで、教師も児童も見通しをもって進めることができる。目的意識や相手意識をはっきりさせながら、単元構想図にカリ・マネの視点を取り入れることで、効果的な学びが生まれ、時間を有効に使うことができる。これより下の単元構想図は、11月以降、新たに加筆・修正したもの(朱書き) 吹き出しは児童の発言

○Ns 3 ハッピートラベル～ガイドになろう！～

くらべる・つなげる
国語「すがたをかえる大豆」

学級活動
「楽しい社会見学」

くらべる・分ける・つなげる
国語「はんで意見をまとめよう」

整理・分析

○えたじまん にん定会議をしよう 【本時 46/60】

学校行事「社会見学」
瀬戸ブルーに乗って、宮島に行こう

まとめ・表

○えたじまんをする方法や内容を考えよう 全校児童 みやじまツアー

【評価】
知識・技能 ③
思考・判断・表現 ④
主体性 ③

課題設定③

第三次 ☆Ns 3 ハッピートラベルツアーに出かけよう！ (10)

情報の収集

わくわく えたじまんツアー
2月21日(水) 予定

整理・分析

①オリーブファクトリー → ②さとうみ科学館 → ③江田島荘ランチ → ④やながわ水産(カキ)

まとめ・表

○えたじまんマップ(リーフレット)を作って、えたじまを広げよう

くらべる・分ける・つなげる
国語「つたわる言葉で表そう」

くらべる・分ける・つなげる
国語「コンピュータのローマ字入力」

くらべる・分ける・つなげる
国語「わたしたちの学校じまん」

振り返り

考えたことを他の学年に伝えたいな。お世話になった人に伝えたいな。



えたじま大好き☆こんなにすてきなところ みんなおいでよ

6 本時の展開 (46/60 時間)

(1) 本時の目標

みかんや江田島の海について、収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関係付けたりしながら、「えたじまん」について考えることができる。(思考・判断・表現③)

(2) 学習展開

	(番号)児童の学習活動 ○発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ●評価
課題の設定	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>○ 単元構想図を見て、これまでの学習と単元のゴールを確認しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せとブルー☆☆、津島織物☆☆☆、さつき太鼓☆☆など「えたじまん」に認定したね。 ・まだ、えたじまんになりそうなものがありそうだ。 ・なぜ、えたじまんになるのか、みんなで考えたいな。 <p>○ 「えたじまん」認定の方法と目的を確認しましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>えたじまん認定の方法</p> <p>① ☆の数で表す。 ② 理由を考える。</p> <p>フィッシュボーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなにやさしい ・江田島らしい ・体験したら好きになる ・自分だけのおすすめ </div> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <p>○ 今日のめあてを確認しましょう。</p>	<p>・前時までの単元構想図の掲示を活用し、学習の足跡をいつでも参考にできるようにする。</p> <p>・本時のめあてを通して、本単元のゴールを視覚化し、何をするために見学に行ったのかを想起させる。</p>
<p>めあて 第3回えたじまん認定会議 みかんや海は「えたじまん」になるか考えよう。</p>		
整理	<p>3 集めた情報を共有し、整理・分析する。</p> <p>○ えたじまんをプレゼンしましょう。(みかん、海)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドとお客に分かれて、交流するよ。 ・質問カードやフィッシュボーンを使うよ。 ・たくさん話を聞きたいな。 	<p>・対話の形態を工夫し、全員が内容を共有できるようにする。(くるくる交流)</p>
分析	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>農家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もち米(田んぼ) ・大豆(はたけ) ・べにほっぺ ・みかん ・オリーブ ・花 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>海</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイビーロード ・生き物 ・さとうみ科学館 </div> </div> <p>○ 交流したことをもとに、認定しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>みかうみちゃん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みかんがり ・みかんがおいしい  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>かふうみちゃん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぜつめつきぐしゅ ・昔からいる  </div> </div> <p>○ 交流して、気付いたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれも人が関わっていることが同じだね。 ・江田島のものと人、地域や私たちは全部つながっているよ。江田島ってすごいね。 ・もっと知りたい、調べたい、新しい課題が出てきたよ。 ・分かりやすく伝える方法を考えたいね。 	<p>・ガイド(話す側)は資料(フィッシュボーン)やスライドを使い、お客(聞く側)は質問カードや認定カードを使って、主体的に伝え合うことができるようにする。</p> <p>・比較・分類・関係付けながら、気付きの質を高めさせる。</p> <p>●江田島の自慢について、収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関係付けたりしながら、解決に向けて考えている。(思考・判断・表現③)</p>
振り返り	<p>4 学習の進捗状況を自己評価する。</p> <p>○ 今日の学習の振り返りをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えたじまん おたからマップに追加しよう。 ・いろいろな人にもっと「えたじまん」したいな。 	<p>・まとめを通して、新しい課題を発見し、次時の見通しをもたせる。</p>

(3) 本時のルーブリック

目標	江田島の自慢について、収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関係付けたりしながら、「えたじまん」について説明することができる。
A	「えたじまん」について、資料を組み合わせながら関係付けながら、根拠をもって説明している。
B	「えたじまん」について資料を組み合わせながら説明している。

(4) 板書計画および配布資料等

11/17 第3回えたじまん はいてい 認定会議

めあて みかんや江田島の海は「えたじまん」になるか考えよう。


えたじまん認定の方法

①☆の数で表す。

②理由を考える。

フィッシュボーンより


- ・みんなにやさしい
- ・江田島らしい
- ・体験したら好きになる
- ・自分だけのおすすめ



☆☆☆
理由は

☆☆☆
理由は

☆☆☆
理由は



☆☆☆
理由は

☆☆☆
理由は

☆☆☆
理由は

くらべる

まとめ

えたじまんは、人や地いきとつながっていて、いろいろな思いが詰まっている。